

I 調査の目的

令和7年国勢調査実施計画の立案に当たり、調査環境の変化に対的確に対応するための調査方法等必要な事項を実地に検証し、実施計画の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

II 調査の概要

- 調査期日 令和5年6月21日(水)
- 調査対象 7都府県8市区 106調査区
調査日現在、対象調査区に常住する全ての人・世帯(約5,500世帯)
- 調査の流れ
- 調査事項 世帯員に関する事項：13項目
世帯に関する事項：4項目
- 調査方法 調査員等が全世帯を訪問し、調査票等の調査書類一式を配布
調査票の回収は オンライン(インターネット回答)、郵送、調査員

III 主な確認・検証事項

1 調査スケジュール及び調査書類の配布方法等の見直し：以下の点について、効果を検証

- ・ 調査書類の配布期間に土日を2回含め、調査員が世帯と接触する機会をできるだけ確保
- ・ 調査書類の配布は対面の説明を基本とするが、世帯が希望する場合にはインターホン越しの説明も可能とし、事前に居住実態が把握できていれば世帯が不在等の場合でもポスティング可能に
- ・ 『はじめにお読みください』及び『インターネット回答利用ガイド』について、オンライン回答の促進を前面に打ち出した内容に



2 共同住宅の管理会社等への業務委託：国から共同住宅の管理会社に一括して業務委託を行い、一括契約の適否について検証するとともに、オンライン回答の促進や聞き取り率抑制につながるか検証

3 回答支援専用コールセンターの設置：オンライン回答の更なる促進を図るため、通常の世帯からの問合せに対応するコールセンターに加えて回答支援専用コールセンターを新たに設置し、オンライン回答の促進につながるか検証

4 変更予定の調査事項の記入状況の確認：第1次試験調査と同様、「世帯の種類」及び「住宅の建て方」を調査員記入欄から世帯記入欄に移行するとともに、「現在の住居における居住期間」及び「5年前の住居の所在地」を調査事項に含め、記入状況を確認

5 オンライン調査システムの改善：オンライン回答の促進及び利用者の利便性の向上を図るため、新たな機能(QRコードからのログイン、一時保存機能等)の追加を行い、その効果を検証